

第19回長井トライアスロン

第19回長井トライアスロン大会は6月29日(日)開催された。本大会は東北のパイオニア的存在として長年開催してきたものだが、近年の経済不況により中高年を対象にした参加者が減少してきている。トライアスロンも来年はアテネオリンピックが開催される年となるが、JTU 本部でも猪谷会長を先頭にメダルの色は別としても、なんとしてもメダルを!! を合言葉に努力することになった。6月14日社員総会でもその決意が述べられた。

さて大会前日は、バケツで水を開けた様などしゃぶりだったが、当日は絶好のコンディションとなった。50代選手のデットヒート、トライアスロンサーキット撰のポイント争いが熾烈を極める。



100キロマラソンの雄 古山選手と奥様



久しぶりで長井トラ女子優勝 川口泰子選手



福島県 12歳寺木史織選手





大会事務局を受け持つ長井鉄人会竹田勉選手

当日は愛娘と奥様も応援



山形 阿部の快走



熾烈を極める50代、横山が西内をかわす



岩手 57歳 中川良治選手



岩手県佐野智子選手



奥さんと一緒に遠藤真治選手



寺木史織は今後に期待



新潟齊藤健選手は連続出場



福島 アーサーは逆転優勝 森崎俊紘氏の祝福を受ける



最後は逆転優勝の福島県アーサー
トライアスロン circuit「がんばるよ」と。



久しぶりで出場し、2分30秒あったタイム差を
最後は逆転した 川口泰子選手

トライアスロンが誕生して20数年、2000年はシドニーオリンピック正式種目となった。来年はアテネオリンピックが開催される。世界の壁は厚くこれを突破することはなかなか至難だ。



東北大 キャプテン渡邊育夢と新人部員



50代の3雄、横山・西内・中川



父を超えるトライアスリートになりたいと
松永和也が話す・・・とほほ、とは父の政和



福島県の名物親子、寺木親子は今年が一番下の
子史織が出場、姉直美は怪我で無念の欠場

来年度は記念すべき20回大会となる。原点に戻り大会運営を心がけたいものだ。